

パンタナル通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2017年9月1日 168号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



第三次インターナショナル・ユース・プロジェクト

自然動物公園造成工事で奉仕作業したボランティアたち。



釣り体験の成果。レダ基地にて。



食堂の壁いっぱいに描いた「友愛の絵」。



図書室の壁をペンキ塗装。

七月三日から七日まではレダ基地において農作業、原野開墾、養殖池での漁労、魚処理、釣り、乗馬などの体験学習と、自然動物公園造り、花壇造りなどの奉仕作業、およびレダ基地の各施設の訪問と見学をしました。

一行は、中田所長、佐野氏から講義を受け、スタッフと交流するとともに、実地で多くの汗を流し、手にマメを作りながら、レダ開拓の歴史と理念を学び、充実した日々を過ごしました。こうして一人ひとりが多くの新たな喜びと感動と希望を抱いて、故郷の家族、学校、コミュニティへと出発して行きました。

その後、バイアネグラのカソリック教会の敷地に80本の植樹を地元生徒たちと共に、昼食会を持ち、また教会のミサにも参加しました。ボランティアたちの宿舎や、食事には海軍の施設を使わせてもらい、町ぐるみの大きな歓迎を受け、隊員と市民の双方が感動するプロジェクトになりました。

今回のモットーは、「清掃を通じて心も清め、神と人と万物を愛そう」と言うもの。チームは78個のゴミ入れ缶を作り、緑色に塗装して文字と絵を描き入れ、町中に設置。学校の食堂には、愛による一つの世界の絵（写真・中）を描き、図書室もきれいにペンキ塗装をしました。また隣接するディアナの学校の子供たちとも楽しく交流しました。

南米、北米、韓国などから、直接アスンシオンに集った十七名の青年たち。彼ら、第三次インターナショナル青年ボランティアチームは、ジョン・ゲリリング氏、高橋泰子さんからベテランに引率され、六月二十八日にバイア・ネグラ市に入り、七月三日までクリーンキャンペーンを中心とした奉仕活動を行いました。（本紙先号で写真を速報）

**きれいな魂はきれいな町に宿る！
バイア・ネグラでクリーンキャンペーン**



工事中の自然動物園。赤い橋が映える。



自然動物園に二つ目の橋を建設する。



完成した二つ目の橋。見かけより幅は広い。



1ヘクタールのタロイモ田を造成。



仔豚を手にするベージン君。



エビの養殖場を準備。古い建物の基礎を利用。



佐藤さんが手の込んだ料理を作る。



公館



シニアエコツアーのメンバーとレダ基地スタッフ。大食堂の庭にて。

写真下：米国から来たベージン君。大学で海洋環境学の修士号を取得した青年で、レダの養殖事業に大きな関心を持っています。7月26日から8月2日までレダ基地に滞在し、色々な体験をして行きました。



医師と医師とが姉妹結縁。



小橋さんが作ったタロイモ大福餅。



目にも口にも美味しい巻きずし。



楽しい魚釣りのすすめ

今回は、「パンタナールの猛魚釣り」を紹介した。今回は、比較的手軽に釣りを楽しめる魚種について紹介しよう。

★**ピラニア** *Piraña* : カラシン目カラシン科



ピラニア 42cm

ずらりと並

んだ三角形の鋭い歯が特徴。小魚、切り身、肉片、虫、ほか動物性の餌なら、何でも喰らいつく。コストのかかるルアーは不

要。ハリを外すときは、指を食い切られないよう、細心の注意を要する。長軸のハリと長いラジオープンチを使うと外し易い。

ピラニアが多い場所では、餌を盗られ、ドリード、スルビなど、他の肉食魚を釣りにくくなるので、お邪魔魚として嫌われる。まな板の上でも噛み付くという、話題性十分の危険な猛魚。実は臆病な魚だとも言われるが、だとすればなおさら危険だ。

ピラニアは大きな獲物をも多数で襲い、結果的に協力し合う。しかし個体数の密度が飽和すると、獲物が不足し、共食いを始める。

ピラニアは種類が多いが、左上の写真のようないなパクー形のもの40cm超の大型にもなり、食用に持ち帰られることも多い。



観光客にはスタミナ食という触れ込みで、ピラニアスープが供されるが、味の

評価は人それぞれだ。刺身も脂肪分が低くてトロがないことから、やはり評価が分かれる。そもそも寄生虫の心配があるので、川魚の生食は控えよう。ピラニアはどこにでも棲んでいて、どんな天候でも釣れる。当地でボウズとは、ピラニア以外、何も釣れなかったという意味だ。

★**アストロ** *Astro* : スズキ目カワスズメ科

尾ビレの付け根の蛇の目の特徴。本流、支流を問



アストロ 28cm

わず、水際をゆったりと泳いでいるのをよく目にする。日本の熱帯魚愛好家の間では「オスカー」の名で知られる。アストロは、擬餌フライ、または本物のハエで簡単に釣れる。ハエは生きていなくてもよい。鋭い歯はないので、お子様にもお奨めの釣り魚。釣ったらうんと褒めて、調理してあげよう。スープも美味しいが、ヒラメやカレイと同様の煮付けがお奨め。

アストロは、釣り上げてからも長く生きていたが、鮮度が落ちにくい。美味であることに加え、これは食用魚として有望な特長だ。レダ基地では、パクーの養殖に続き、アストロの養殖も手掛けるべく研究に着手している。

★**トライラ** *Taraina* : カラシン目エリトリヌス科



トライラ 34cm

いかにも食欲そうな大きな口にギョロ目、ややグロテスクな顔つきが特徴。水草の陰に隠れることが多い。トライラの姿が見えたら、小さな肉片をつけたハリを目の前に垂らしてやる。間髪を入れず喰らいついてくるので、ゴボウ抜きにする。簡単に釣れすぎて、つまらないほどだ。

私はまだトライラを食べたことがないが、先住民たちにとっては食用魚である。

★**マングルジュ** *Mangurú* : ナマズ目ピロメドウス科

この写真のように黄色っぽい個体と、灰色調の個体がある。スルビとは体形が異なる。体は大きい



マングルジュ 88cm

小さな目が可愛らしく、ちよつとひょうきんな顔に見える。マングルジュは、狙って釣るのではなく、スルビ釣りをしていて偶然に釣れるケースがほとんど。食べればスルビのように美味いらしいが、体長80cm未満はまだまだ子供だということ

とで、記録したら即時リリースする。

★**ペロ・デ・ペス** *Pero de pez* : カラシン目キノドン科



ペロ・デ・ペス 65cm

英語でドッグフィッシュというように、下あごの鋭く長い牙が特徴。上あごにはこの長い牙を収納する穴がある。ドリード釣りの外道として釣れることが多い。ヒットすると、銀色の体をくねらせて激しくジャンプする。その時、ドリードが川上に向かって走る傾向があるのに対して、ペロ・デ・ペスは川下に向かって行く傾向がある。

ハリを外す時は、咬まれないよう注意する。水中では凶悪な猛魚の趣があるが、陸上ではすぐに弱ってのびてしまうので、それを待ってもよい。

人にあげても喜ばれないし、餌と時間の損失になるので、ピラニアと並んで、あまり釣れて欲しくない魚だ。でも国外からのお客さんは、珍しい魚だから、釣れるとけっこう喜んでくれる。(小田記)

「きょう、胸が震えました！」

第十四回パンタナール一日特別研修会

八月五日午前十時より、川崎市の大山街道ふるさと館二階研修室において、南北米福地開発協会とNPO法人地球の緑を守る会の共催により、第十四回パンタナール一日特別研修会（ワンデイセミナー）を開催しました。この日は、折からの猛暑にもかかわらず、遠近より58名が参加しました。

プログラムは、大滝順次氏の司会によって進められました。中田欣宏理事長のあいさつに始まり、柴沼邦彦理事による「レダにおける理想郷建設」、昼食をはさんで、高津啓洋地球の緑を守る会代表による、「地球環境問題と森づくり」、島田賢二青年局長による青年局の活動の報告と今後の展望、後藤誠一理事兼東京総支部長によるパクー放流式とレダ訪問の報告、奥迫孝顕さんによるレダにおける養殖研究報告と続きました。

最後に分科会があり、参加者自身が希望する分科会に入って、講師や他の参加者たちと親しく質疑応答、意見交換などをしました。

今回のセミナーには、八月下旬に出発する第十七次国際協力青年奉仕隊員四名も参加し、パンタナール地域について事前学習をするともに、現地奉仕活動への抱負と決意を新たにしました。

この一日セミナーの講義主題は初回から一貫していますが、レダの活動現場におけるプロジェクトの発展、お



世界平和地球村の建設と自然環境の保護
第14回 パンタナール1Dayセミナー

2017年8月5日 会場：大山街道ふるさと館 2階イベントホール 主催：一社 南北米福地開発協会 共催：NPO法人 地球の緑を守る会



各講師を中心に、親しく分科会。（8月5日）

第十七次国際協力青年奉仕隊の準備、着々

今年の青年奉仕隊は、島田青年局長を含めて、日本から十六名（男子十名、女子六名）を小田氏が引率し、現地参加するチリ人の青年一名を加えて、総勢十八名です。八月二十二日に成田空港から出発し、九月八日に同空港に帰国する予定です。

活動地は、アルトパラグアイ州都フエルテ・オリンポ市。「美しい町に美しい心」を奉仕活動テーマに、市当局の熱烈的な協力を得て、美しいゴミ箱を造り、設置します。また研修館の塗装、以前に植樹した街路樹の欠株を補う作業などもします。

毎年利用してきた、現地で唯一の貨客船アキダバンが修理のため運休するので、陸路での出入りになります。大雨が降ると、空路によるしかなく、この場合には交通費が大きく増えるかもしれません。

どうか、引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

未使用の古はがきや切手も大歓迎。下記の事務局あてお送りください。



ドラム缶が護美箱に。

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話：044-829-2821

FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール：office@asd-nsa.com

ホームページ：asd-nsa.com

会員種別

◆会員一口1000円／月

◆特別会員一口1万円／月

◆法人会員一口1万円／月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名：シャ 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

お便り募集



キアゲハ

読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局

office@asd-nsa.com

へお願いします。